

# 「新たな観光県やまぐち創造プラン」の概要

## 第1章 計画策定にあたって

### 1 策定趣旨

- コロナ禍において、本県観光のV字回復につながる取組を短期集中的に実施してきたが、コロナ禍で生じた社会変化等を踏まえ、中長期的な視点に立った観光振興の取組が必要
- このため、県総合計画と軌を一にした観光振興施策を、総合的かつ計画的に推進する新たな指針として計画を策定

### 2 計画の性格

- 「おいでませ山口観光振興条例」第9条に規定する推進計画
- 県政運営の指針「やまぐち未来維新プラン」の観光分野に関する個別計画

### 3 計画期間

2022(令和4)年度～2026(令和8)年度 [5年間]

## 第2章 現状と課題

### 1 国内の観光の動向

- コロナ拡大の影響による訪日外国人旅行者の激減と国内旅行の大幅な減少により、観光産業は非常に厳しい状況

### 2 観光先進国の実現に向けた国の観光施策

- 2022(令和4)年10月の、水際対策の緩和など、インバウンドの本格的回復に向けた動き
- 新たな「観光立国推進基本計画」について、2022(令和4)年度末までの策定に向け作業中

### 3 コロナによる人々の意識の変化

- 自然環境に触れる旅行ニーズの高まり
- 「持続可能な観光」に対する世界的な意識の高まり

### 4 本県観光を取り巻く環境

- 国内外からの交流人口の拡大に向け、本県の恵まれた交通アクセスを活用するとともに、国際便の運航再開等によるインバウンドの拡大を図ることが望まれる

### 5 本県観光の状況と課題

#### <状況>

- コロナ拡大の影響により、2020(令和2)年の観光客数や延べ宿泊者数は、甚大な落ち込みを記録
- 「山口県観光V字回復プラン」、「やまぐち観光振興支援パッケージ」に基づく観光需要喚起等により、2021(令和3)年の観光客数等は、2020(令和2)年に比べ小幅ながら増加
- 2021(令和3)年の客室稼働率は全国2位となるなど大きな成果

#### <課題>

- コロナ禍における社会変化を捉えた観光地域づくりの推進や、観光産業の持続可能な発展に向けた「稼ぐ力」の向上が必要
- コロナからの回復期に起爆剤となる、やまぐちの認知度を高める効果的なプロモーションの実施が必要
- 地域の活力を高め観光交流人口の一層の拡大に向けた、スポーツや文化など多様な分野との連携による観光交流の推進が必要
- インバウンド回復・拡大期における誘客の促進が必要

## 第3章 計画の推進方向と施策体系

### 1 基本的な方向

#### <目指す姿>

#### 新たな時代をリードする観光県やまぐちの創造

本県観光の新たな時代をリードする観光振興を進め、国内外の観光客が満足し、地域の住民が様々な形で将来に渡る豊かさを楽しむ「観光県やまぐち」を創造する。

#### <施策の体系>

- 1 新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり
- 2 観光客の心をつかむ戦略的なプロモーションの展開
- 3 やまぐちの多彩な魅力を活かした幅広い交流促進策の推進
- 4 反転攻勢に向けた誘客対策の強化によるインバウンドの拡大

## 第4章 施策の方向

### 1 新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり

#### (1)やまぐちの特色を活かした持続可能なツーリズムの推進

- 新** アウトドアツーリズムなど、「自然」や「文化」等の魅力的な観光資源に、「食」、「アクティビティ」等を効果的に融合させた、本県ならではのツーリズムの創出
- 新** 山口きらら博記念公園を拠点とした大規模イベントの誘致
- 新** 年齢や障害の有無に関わらず、誰もが安心してやまぐちの旅を楽しめる魅力的な観光地域づくりの推進

#### (2)「やまぐちDMO」を核とした魅力ある観光地域づくりの推進

#### (3)観光客の満足度を高めるおもてなしの推進

- 新** 地域住民の地域への誇りへの醸成につながる観光地域づくり

#### (4)観光消費額を高める付加価値の高い商品・サービスの開発

- 新** ビッグデータの分析結果等を活用した観光コンテンツ造成支援
- 新** データに基づく観光地経営の実践に向けた支援や、観光地経営の基盤強化による、観光地域全体の「稼ぐ力」の向上

#### (5)観光客の安心・安全の確保

### 2 観光客の心をつかむ戦略的なプロモーションの展開

#### (1)観光需要の拡大に向けた効果的なプロモーションの展開

- 新** 本県の優れた観光資源である、「絶景」、「歴史」、「グルメ」、「温泉」などを活用した新たなプロモーション
- 新** 全国からの誘客拡大に向けた、新たな大型観光キャンペーンの誘致

#### (2)プロモーション力を高めるデジタル技術の活用

- 新** ビッグデータ分析結果等に基づいた、プロモーションと商品・サービス開発の戦略的かつ一体的展開
- 新** デジタル技術を効果的に活用したマーケティングやSNS等の特性に応じた観光客のニーズに即した情報の伝達、デジタルコンテンツによる誘客の促進

### 3 やまぐちの多彩な魅力を活かした幅広い交流促進策の推進

#### (1)スポーツの力を活用した交流促進

- 新** 山口きらら博記念公園の交流拠点施設としての機能の拡充や、各種スポーツイベントの開催等による交流人口の拡大
- 新** eスポーツ(バーチャルスポーツ等)を活用した本県の魅力発信や誘客の促進

#### (2)多彩な文化資源を活用した文化観光の推進

- 拓** 県立2美術館のコレクションを活用した展覧会開催や、山口きらら博記念公園での文化イベントの開催等による、交流人口の拡大

#### (3)国際交流の推進

#### (4)MICE誘致による交流人口の拡大

- 拓** ハイブリッド型MICEに対する新規開拓に向けたプロモーション

#### (5)交流を活発化する交通ネットワークの機能強化

#### (6)新たな人の流れを呼び込むワーケーションの推進

### 4 反転攻勢に向けた誘客対策の強化によるインバウンドの拡大

#### (1)大阪・関西万博の開催などを見据えた海外からの誘客対策の強化と受入環境の充実

- 拓** 大阪・関西万博の開催などに向けた、せとうちDMOとの連携強化や中国地方の官民が一体となったプロモーションの展開による欧米等からの誘客拡大や新たな市場開拓の推進
- 拓** 山口県ならではの特別な体験などのコンテンツ造成や県内宿泊を一層促進する取組への支援等、外国人観光客に向けた観光地域づくりの推進

#### (2)クルーズ船の誘致推進

#### (3)国際航空路線等の再開・定着(一部再掲)

#### <数値目標>

指標名	現状値(2021)	目標値(2026)
観光消費額(年間)	1,098億円	1,600億円
観光客数(年間)	2,260万人	3,700万人以上
延べ宿泊者数(年間)	330万人	550万人以上
外国人延べ宿泊者数(年間)	2.0万人	20万人

#### <その他の指標>

- ・キャンプ場利用者数
- ・山口宇部空港の国内定期便の年間利用者数
- ・県立スポーツ施設の年間利用者数
- ・山口宇部空港の国際便(チャーター便含む)の年間利用者数
- ・県立美術館の入館者数
- ・文化人材バンク登録者の発表機会の創出件数
- ・岩国錦帯橋空港の国内定期便の年間利用者数
- ・クルーズ船寄港回数

## 第5章 計画の推進体制と進行管理

### 1 推進体制

県、市町、観光関係団体、観光事業者及び県民が相互に連携を図り、主体的・積極的な取組を推進

### 2 進行管理

進捗状況等を「山口県観光審議会」へ報告し、数値目標の達成度を公表